



『話を聞かない男、地図が読めない女』

発行所：主婦の友社

発売元：角川書店

大谷 勇一郎
(Yuichiro OTANI)

この本が発行されて、もう10年は経っている。既に読まれた方もいるだろう。最近、改めて目を通して見て日常生活において役に立つ内容だとつくづく思った。

この世の中には男と女が共に暮らしている。職場・家庭・学校・その他のあらゆる場面において常に接している。いまの世の中では、技能や適正、能力において、男女差はないことになっている。だが、やはりその前提は誤りであることは、科学の世界では以前から知られていた。男と女はちがうという単純な事実には尽きる。男と女がもっと充実した人生を送るには、おたがいの弱点をあげつらうのではなく、性による違いを理解するしかない。

この本は男脳と女脳という点からこれらのことをとらえている。脳の研究については、まだ理解されていない面が多いといわれている。左脳と右脳、理性と本能、プラス思考とマイナス思考、悩みの解決、目標達成・夢の実現方法等の多くの本が出版されているが、男脳と女脳の一つのテーマにこれだけ多くの最新の研究成果をこめた本もめずらしいと思う。性別では男と女が明確に分けられるが、男脳度・女脳度の割合が違うという点もおもしろい。化粧関係、装飾関係において名声を得ている男性のなかには、やはり女性の雰囲気強い人も多くと思われる。職種において男が多く女が少ないということは確かにあるし、その逆も当然ある。理系の分野は男が多く、女が少ない。性差別や女性蔑視ととられてしまうことがあるが、そのようなことも誤りであると思う。昔は男尊女卑という時代が確かにあったが、現在では女性がいろいろな面で優遇（レディスデーとかいう名目で男性よりも格安の料金になっている等）されている。ある意味、女尊男卑の傾向かもしれない。

話を聞かない男、 地図が読めない女



ベストセラー 快進中!
世界22カ国の謎を解いた、結婚の成否を
ヒューマン・コミュニケーションの
権威ビーズ夫妻が「男と女」の
不思議をすばり解決! 「男脳・女脳」
特定テストつき

もともと男と女は「同じ地球に住んでいる異星人」ぐらいちがう。それなのに私たちはつい、自分の尺度で相手を測ろうとするし、自分と同じ考えかた、感じかたを求めては、うまくいかず不満を爆発させる。でも男と女はちがっていてあたり前だし、むしろちがうからこそおもしろいと思う。

この本に書いてあるそれぞれの脳の特徴を理解すれば、無用の衝突で破綻する男女間の関係も少しは減ると思われる。

教員の観点からいっても、男子・女子の指導に必ず役立つ本だと思うので、是非、一読することを勧めたい。

